

タウンタウン小麦

特定非営利活動法人
発行 くまがや小麦の会
発行責任者 日向美津江
ホームページアドレス
<http://www.kumagayakomuginokai.jp/>
くまがや小麦の会

NPO 法人
くまがや小麦の会
since 2006
事務局 〒360-0801 埼玉県熊谷市中奈良 1797-1
TEL.048-521-0026 FAX.048-521-7900

今に心をこめて



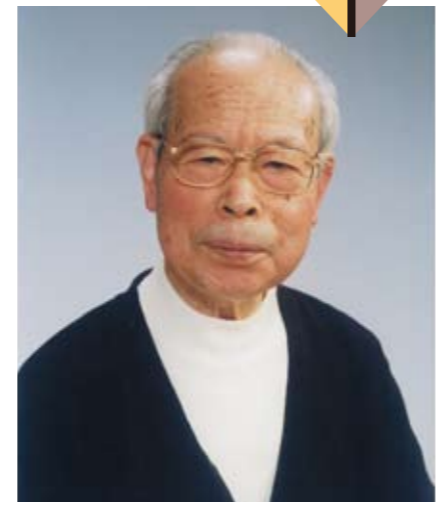
鎌倉芳太郎先生のことば
東京美術学校（現芸大）の文庫に勤務の頃、絵を藤島武二先生に学んだ。生活苦で昼食代を画材費としていた頃、東美の美術史教授・鎌倉芳太郎先生が私を窓辺に呼び「あの真赤に輝く太陽を見なさい。明るく温かく大きな太陽の心を己が心にして生きる」と教えてくれた。

母の言葉
私が秩父の妻家から東京に絵を学ぶため上京する朝、庭先まで送り出してくれた母が東京行きの手紙で「電車代を手渡ししながら、こころよく生きてくよ」と直に生きるといって、この言葉が、私の人生を支えてくれた。

父の死
私が十二歳のとき父が亡くなった。野辺に送る日暮地の桜が満開で春風に見事な花吹雪。その日から桜が私の心の花となり、かなしいとき、つらいとき、困ったとき、必ず桜吹雪が私の心に吹きこみ希望と活力をあたえてくれた。

父の枕元で絵をかく
私が三、四歳の頃から父は病床の日々でした。母・姉・兄はそれぞれ家事があり、私が父の枕元にいた。用事の間隙に絵を描き、その絵を父は見舞い客に見せた。見せられた人々にほめられ「一層絵を描くことが楽しくなった。思えば教育とはほめることから始まる。と山への祈り

画道の歩み
大野 百樹 さん
日本美術院同人



今
日本美術院（春・秋の院展に昭和二十三年より毎年出品、現在に至る）

谷川岳の絵
この作品の前年「八海山」を描いて受賞した。翌年賞を改めて谷川岳を描き出品作品最高の美術院賞大観賞を受賞

大観先生と私の母がなくなる
私が三才の時大観先生と母が亡くなり、その後二年続けて院展落選した。悲しみを癒すために上高地を旅し焼岳であった。噴煙を棚引かせたその姿に心が生き、全国の山を描く作家となった。

洋画から日本画に転向
鎌倉先生にお世話になり、院展出品を決定し、小谷初任牛・奥村土牛に師事する。春・秋の院展初出品・初入選。その後六十数年出品、奨励賞・美術院賞・大観賞・外務・文部・総理大臣賞受賞

大観先生からお酒
日本画壇を代表する横山大観先生からお酒をいただいた。きたく永年心がついた。

点描の画法
写生はいつも細やかに描いた。その鉛筆の線の上を色鉛筆で着色し、鉛筆の上を「さす」と着色線がなくなるので線と線のすき間を着色した。これが私の絵の点描の始まりであり、続けられて点描作家となった。



文部科学大臣賞受賞作

県展（埼玉） 県北展・熊谷市展
一、埼玉県展は第二回展より出品。現六二回展まで全出品。
二、県北美術院 発案・企画・発足。同展の事務局長を九年間務めた。現在審査員・顧問。
三、熊谷市美術展 発案・企画・発足。事務局長・会長。現在審査員・顧問。
四、朱麦会発足（昭和二十六年）副会長（二十一年間）・会長：里見明正
五、熊谷市文化連合発足（昭和二十二年）朱麦会理（昭和三十一年）里見会長・大野理事長 後に副会長・顧問
六、かえる会 絵の勉強会。三〇年間指導・大野百樹
七、八木橋カトリア日本画教室講師 昭和五十八年より現在に至り、毎年日本画教室展開催（八木橋デパートにて）
八、八木橋創業七〇、八〇、九〇、一〇〇、一一二周年記念 大野百樹日本画展開催 等々開催
九、その他 かえる会展・四季点描展 等々開催
特選画廊にて開催



文部科学大臣賞受賞作

カトリア日本画教室
八木橋デパートさんのカトリア教室で現在は年四回、大野先生の御指導のもと二〇人前後の生徒さんが日本画の勉強会を行っています。日本画教室は、カトリア教室の中では三〇年近くたつ古い教室です。生徒さんの中には最初から参加している方も年齢も八〇歳代の方から若い方も皆さん個性豊かなです。教室の作品展は毎年一月に八木橋デパートギャラリーで行われます。四号から一〇号までの小品ですがそれぞれ力作ぞろい。是非一度お出掛け下さい。

巻頭のインタビューストリーズを大野先生に原稿に変更して
先生の絵画教室に在籍する小麦の会会員の今井さんからインタビューのお願いをさせて頂いた。予定が入ると画業の気持が落ちる予定がないので、午前中のお時間を割いて頂いた。夏に向かう庭の草花が静かな佇まいに彩りを添えている。今回の取材に対して九十二歳を迎えられる日本を代表する画家である先生が実に丁寧な御準備をなさって下さっていた。先生のお気持ちにすっきり包まれ何となく全盛な時を過ごさせていたのだ。奥様の思い出もなしの桃の程好い冷たさにも感謝。日本人の持つ厳しさを越えた穏やかな優しさを打たれた。大切なのは今の積み重ね、今を大切にすることを心構えとしていると話された。丁寧に用意頂いた原稿を生かして、そのまま紙面に使わせて頂きました。紙面の都合上、夏笛はお休みとさせて頂きます。

次号のお届けは 10月1日になります。

編集室 TEL048-521-0026 FAX048-521-7900

小麦の会活動報告

◆3/30-4/7 第13回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会開催

昨年、東日本大震災が起り中止されましたが、13回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会が熊谷ラグビー場で開催されました。ラグビー場入口で熊谷の物産展が開催され小麦の会の「ラグビーサプリ」が全国から参加した選手、保護者のお土産に良く売れました。埼玉県からは深谷高校が出場しました。
※優勝は東福岡高校が連覇となりました。

◆4/1-4 フローラルフェスタ 熊谷駅コンコース

熊谷物産まつりとして7店が出店。うち5店で協力体制を組んでの販売は、いつもと違う商品を扱える楽しい経験でした。

◆4/5 子ども達とケーキ作り…雀幸園訪問

花冷えする四月初め、子供達とケーキ作りするためパウンドフォアパウンドの生地を持ち、児童養護施設雀幸園に行ってきました。手慣れた子供達は分量の生地を型に流し入れ、オープン。焼き上がりまでの一緒に過ごす時間はとても楽しく、来年もまた大きく成長した子供達に会うのが楽しみです。

◆4/28 友山まつり 根岸家長屋門

歴史ある長屋門前で商工会大里支所の協力をいただき販売。素敵なお庭では、お琴の演奏、ハワイアンなど楽しみ、販売しながらもゆったり気分を味わえました。

◆5/13 第1回龍原元気まつり 龍原駅南口

龍原商店街連合会会長 山田忠之さんが、くまがや小麦の会を訪ねてこられ第1回がはら元気祭りの出店要請を頂きました。当日は、快晴に恵まれ龍原駅南口は来場者 2000 人に埋め尽くされた。イタリアから帰国中のピアニストの森田義史さんが店頭に来て下さり、東京にお出掛けのお土産にお買上げくださった。フフフ！ナイスショットでした。

◆5/19 スターダストレビューライブ…さいたまスーパーアリーナ

スターダスト30周年会場は、メンバーの出身地、行田、羽生、そして熊谷の名産品とゆるキャラたちが勢揃い。販売員の両脇は行田岩城おもてなし甲冑隊のイケメン2組です。お陰様で、くまサプリとパンが売れ!!売上げ記録更新で疲れを感じることのない充実の一日でした。



◆5/27 第2回熊谷8級グルメ大会 熊谷スポーツ文化公園

B級グルメコーナーは朝から大行列。当会出店の物産エリアも大勢のお客様で賑わいました。地粉パンは大好評。限定フオンケーキも売れました。会員さんも多遊びに来てくださり、汎の万々々にお会い出来た楽しい一日でした。

◆6/16 キャンドルナイトin熊谷にサプリを寄付

◆6/23 熊谷商業高校販売実習 熊谷駅コンコース

熊谷商業高校の販売実習で「くまがや小麦の会」の製品を熊谷商業高校の学生さんが熊谷駅コンコースで販売しました。

◆6/23-24 気仙沼小学校を再び訪問

ライオン株式会社より歯ブラシセット 480 組 御寄付頂きました。昨年7月13日に小麦の会会員9名でくまサプリ、あつべえサプリ、ニャオぞねサプリ、ラグビーサプリを配布に気仙沼小学校に伺いました。気仙沼小学校は流されてしま、気仙沼小学校に訪問して2校が同じ学校で生活していました。熊谷君、熊谷さんがクラスに4～5名の学校です。その後、気仙沼小学校は統合され気仙沼小学校になりました。虫歯が増えているとお聞きしましたので、歯ブラシセットを480組お持ちしようとお計画しました。ライオン株式会社から寄付くださいました。小麦の会は用意した資金を気仙沼小学校にご寄付させて頂きました。

イベント出店予定

- 7/12(木) くまがや小麦の会暑払い ブルームーンカフェ
 - 7/21(土) 森田義史お祭りコンサート 熊谷市文化会館
 - 7/26(木)~7/31(火) 八木橋 B1 食品売場特設フゴン
 - 9/9(日) 森田義史ピアノリサイタル 軽井沢大賀ホール
 - 9/27(木)~10/1(火) 八木橋 B1 食品売場特設フゴン
- 会員募集 賛助会員年会費 10,000円 一般会員年会費 1,000円
お申込み: 電話: 048-521-0026 FAX: 048-521-7900

森田義史 ピアノリサイタル
2012年9月9日 開演13:30 開演14:00 軽井沢大賀ホール
プログラム掲載広告募集! 1口...1万円
当日配布いたしますプログラムにフルカラーで広告を掲載致します。(1,000部発行)
広告の大きさ: 5cm×8.5cm
※広告掲載申込書をお送りいたします。
お申し込み: 森田義史ピアノリサイタル実行委員会
事務局: TEL: 048-521-0026 FAX: 048-521-7900 Mail: reiko.komugi@gmail.com

あの町この店

心の伝わる贈り物 シヤディ ダイコクヤ (株)大黒屋

【熊谷店】
熊谷市肥塚3-4-10
048-525-6313
10:00~18:30
定休日なし



くまがや小麦の会ギフト商品取扱店

明治三年、金物の卸しから始まった大黒屋時代の流れを見極めつつ贈答品の可能性に気づいた鈴木慶二社長は、昭和六年にシヤディと大黒屋の仕入れの利点を合わせた熊谷店をオープン。現在五店舗を展開し、全国二五〇〇のシヤディの店の中で、一位の売上げを誇っている。「二名の女性従業員が守っている。主婦ならではの感覚・目線の品揃えが特徴でもあり、昨年十二月にリニューアルした熊谷店は若い客層も増えている。シヤディの魅力は商品力。一度、店やカタログで商品を見てみれば、そのラインナップに驚くこと必至!ゴディバ、千足屋、堂島ロール、全国的有名店や海外ブランドから可愛らしい雑貨まで、あちこち出かける中にも探し回らずとも手に入る。ドリンク類や油、洗剤などの定番商品も、割引率が高くお得感いっぱい。また、冠婚葬祭のウハウハをも伝える「商品十」を心掛け、あのお店があつて良かった、助かったと言われたい店を目指している。七月三日までお中元承り中!シヤディのギフトで、感謝の心を伝えてみては、(Y)

三国コカ・コーラ調印式
三国コカ・コーラボトリング株式会社の社会貢献活動の一環で平成24年4月17日、御平船で三国コカ・コーラボトリング株式会社山田浩史市場開発部長と日向会長との間で協定書が交換されました。これからは、熊谷産小麦の地産地消の活動を発展させ、地域社会に貢献していきたいと思えます。支援自販機は、当会のシンボルマークの熊さんが3面に描かれており街中でお目にかかる機会が増えて参ります。皆様のご利用とご協力宜しくお願い致します。

ミラノサプリ
新発売
森田義史
2012年7月21日(土) 午後4時30分 開演 午後5時 開演 熊谷市文化センター文化館
料 金: 全席自由 1,000円
※熊谷文化センターで先行販売いたします。 お問合わせ Tel・048-531-3630 (森田)

青島広志&原田勇雅とっておきのコンサート

〜イタリアの太陽と風〜
原田さんは現在イタリアで勉強中。「声の持つ響きや楽器の音色を通じて、心に伝わる、聴く方が元気になるような演奏を心がけたいと思います。暑い熊谷に暑いイタリア音楽の風をお届けしたいと思っています!」
8月12日(日) 開場18:00 開演18:30
熊谷文化創造館さくらめいと 太陽のホール
全席指定 SS席4000円 S席3500円 学生席1000円 (2階席、高校生まで、後援会事務局のみ取扱)
チケット取扱 さくらめいとチケットセンター (048-532-9090) 八木橋プレイガイド (048-523-1111) 原田勇雅講演会事務局 (048-607-3810)